

(案)

平成 26 年度
第 5 期中原区区民会議 第 2 回運営部会

日時 平成27年1月9日(木) 10:00～

場所 中原区役所 5階 503会議室

第5期中原区区民会議 第2回運営部会摘録

- 1 開催日時：平成27年1月9日（金）午前10:00～11:50
- 2 場 所：中原区役所5階503会議室
- 3 出席者：板倉部会長、橋本副部会長、中森委員、成田委員、仁上委員、萩原委員【委員6名】 【欠席】反町委員
（事務局）小野副区長、今井企画課長、江口係長、倉見係長、西山職員【企画課】
岩下さん【コンサルタント（株カイト）1名】

4 議題等

・会議録確認委員の選任

- ・議題（1）第5期区民会議審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について
- （2）第3回中原区区民会議について

5 傍聴者 なし

6 会議内容

・会議録確認委員の選任

会議録確認委員の選任について、前回に引き続き、名簿順で中森委員を選任。

・第5期区民会議の審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について （進行：岩下氏（コンサルタント（株カイト））

資料1「課題調査部会における意見整理」に基づき、課題調査部会の成田部会長から、審議の経過、主な意見等について報告。

続いて資料2「課題解決提案（案）」及び資料3「課題解決に資する取組の提案に向けて」に基づき、事務局（コンサルタント）から、審議のまとめに向けて提案の例、運営部会での審議のポイント、今後の進め方等について説明。

【意見交換】

板倉部会長 「まちをきれいに」を広く捉えて、ごみ問題以外の視点からも捉えられないか。

例えば風景の美しさ、決まったばかりの「区の木・モモ」を活かす取組、緑の散歩道の美化、区の花パンジーの活用などである。「心の美しさ」でテーマを捉えて、挨拶運動なども考えられる。どちらかというまとめていくというより、拡散の方向になってしまうかもしれないが、本会議からお願いする方向性もあるだろう。

萩原委員 7月から次のテーマという予定になっているが、例えば今回の提案について取組実施や活動の期間はどのようになるのか。7月までに実施まで完結させるとなると、もうあまり時間が無いように思う。

事務局 具体的な取組については、7月以降にも並行的に進めていく形になる。6月末までに実行・完結までということではない。

萩原委員 区内の様々な企業や団体が、ごみ問題に限らないまちをきれいにする活動を展開されている。植樹や緑道の整備など、それらの活動も併せてアンケートで把握して、良い所、頑張っているところを表彰したい。それが冊子になれば、ごみの話だ

けでなく、様々な取組が区民に伝わるのではないか。読んだ区民に「自分の近所でこんな活動があるのか」と知ってもらえればいい。私も「まちをきれいに」は広く捉えたいと感じている。イベント等とも絡ませられると良い。分別検定・名人認定の案は面白いと思った。

成田委員 分別検定はイベント等の中での一つの企画として実施するような形になると思う。武蔵小杉駅周辺の駐輪マナーは近年確実に向上しており、区の花パンジーの苗を植える取組もされている。そうした「きれいに」のイメージは部会では深められず、審議がごみ問題に集中してしまった。イベント等でごみ問題以外も組合せて考えていくことはできると思う。

橋本委員 江川のせせらぎ遊歩道など散策できる道が区内には結構ある。こうしたみんなが歩くような所に、区の木になったモモの木を植える場所を選定して、植えていくような取組ができれば楽しそう。またこうした取組をPRする際は、CATVなどとも連携できれば効果も更に上がっていくのではないかな。

萩原委員 マイナスを無くすだけでなく、プラスを増やしていくような取組も欲しい。

橋本委員 植樹の場所の選定の際は、幼稚園や学校などにも声をかけると良い。子どもを主体にイベントや取組を行うと、親や祖父母も集まってくるようになり、広がっていく。

仁上委員 「まちをきれいに」というとすごく範囲が広い。どこかに焦点を定めて、対象を絞っていかないといけないのではないかな。どうしても気になる汚いところをつぶして、きれいにしていきたい。これから花見のシーズンが来れば、黙っていてもにぎやかになる場所がある。一方で非常に汚いごみ集積所がある。これをどうにかできないか。そこに私は関心が集中している。年末年始の収集の無い期間にごみが出されてしまっている集積所がいくつか散見された。既存の活動が取り上げないことに取り組んでいく必要があるのではないかな。放置自転車も区民会議で取り上げたこともきっかけに、少しずつ改善してきたのだと思う。

板倉部会長 ごみ問題への課題解決、取組の話を無くそうというのではなく、それはそれで残しておいて、他の視点も必要ではないかということだ。

仁上委員 ある程度は絞っていかないと、拡散してしまう。また新しい話題が出てきてしまうともまとまりがつかないのではないかな。既存の提案との組合せも考えられる。きれいなまちを、もっときれいにしてもらえるように、パンジーの苗のプランターを配布するなども考えられる。

成田委員 丸子橋周辺では毎夏バーベキューの後のごみの問題が発生する。集まる人は多摩川の景観などに魅力に感じられて来るのだと思うが、楽しんだ後にごみを残していってしまう。守っていききたい心を育てていくような方向性も必要だ。コミュニティとしてまちをきれいにしていくためには、取組を組み合わせ、集約していくことが必要ではないか。ごみ問題は外せない部分でもある。

中森委員 がんばっている地域を顕彰して、メディアと連携してその取組をもっと盛り上げるような方向性を考えたい。周りも触発されるような方法がないか。表彰などもあれば、盛り上がるかもしれない。

橋本委員 きれいなところにはごみを捨てにくい。汚い所はさらに捨てられて汚される。

連鎖的になっている。

仁上委員 駅のホームなども私の子どもの頃から考えるとすごくきれいになった。ごみ箱の撤去なども荒療治かもしれないが、公園などで実績がある。ホテルのきれいなロビーにごみを捨てる人はまずいない。まだ汚いところがあるようでは、「このまちがきれいになった」とは言えない。

パンジーなどは咲いている時期が長い花なので、ポイントを抑えて植えればもっとまちがきれいになるのではないか。イベントに合わせて苗を配布などもできる。

橋本委員 集積所の汚いところに、プランターで花を植えたら、捨てにくい雰囲気生まれて、きれいになるだろうか。

板倉委員長 集積所というのは区内にどのくらいあるのか。

萩原委員 地域によって規模も違う。町会によって配置もかなり異なるようだ。

板倉委員長 集積所を動かそうとすると大変な作業である。誰もが「自分の家の前は嫌だ」と言うだろう。

仁上委員 地域によっては輪番制で清掃していたり、前のお宅が一人でやっていたり、放置されていたり、様々である。各町会や地域に悩みを聞くのもいいのではないか。

良い取組が見い出せればみんなで見学にいつでも良いと思う。

萩原委員 提案させてもらったアンケートは何らかの形でぜひやってほしいと思う。

板倉部会長 以前子育てでアンケートをした事例はある。

萩原委員 町会同士でもお互いの取組を知らなかったりするのではないか。

成田委員 最近は園庭のない保育園も増えており、そうした所は公園や散歩できる所を近所で探して活用されている。自分たちが目にしているまちの様子がそれぞれあるのではないか。そのあたりも把握できれば、認識のギャップ等が見出されるかもしれない。良いところはどこだという視点から、魅力をアピールすることにもつながると思う。

萩原委員 良い事例をぜひ見出して、私も勉強させてもらいたい。他のイベントに絡ませることもできると考えたが、たくさんの中の一つになってしまうよりは、テーマを絞ったイベントが単独でできればと考えた。市民館などはホールもあり、新しい住民を集める面でも等々力などより良いと思う。

橋本委員 単独イベントで多くの人を集めるのはすごく大変だ。

成田委員 前期の区民会議の審議をきっかけに生まれた取組として「子育てふれあいカフェ」がある。反町委員が中心に関わっていらっしゃるが、「継続的に開催できればいいね」というところで終わっている。今回の取組と組み合わせて、また開催することも考えてもよいのではないか。

板倉部会長 アンケートは、何を設問として設定するか、検討の必要があると思う。心の問題等で「まちをきれいに」を考えるのは難しいか。

萩原委員 マンションなどでも積極的に挨拶運動などに取り組まれている事例がある。ほとんどのマンションで挨拶や防災の取組があるように聞いている。

板倉部会長 団体の表彰はどういう視点で選ぶのか。

萩原委員 アンケートで見出したい部分だ。例えば長年やっている、独自の取組など。逆にどんな団体でも構成員の高齢化などに苦労しているかもしれない。

板倉部会長 まちづくり推進委員会などに登録されている市民活動団体以外にどのくらいの団体があるのか、把握できていないのが実情だ。ただ、登録団体だけでも200くらいはある。どこまで調査の範囲を広げられるか。

萩原委員 調査対象は、以前資料で出していただいた一覧の既存の活動に加えて数団体くらいで、とりあえずは良いのではないか。企業も対象でOKということであれば、工場協会を通じれば、地元の不動産業やサービス業なども含めて事業系の取組の情報が集められると思う。あとは商店街を通じてお願いすれば、商店街としての取組や個店としての取組が把握できるのではないか。アンケート中に回答を公表しても良いかどうかなども入れておけるといい。

板倉部会長 アンケートの項目もごみに絞るかどうか。

萩原委員 まちがきれいになるために「取り組んでいること」について、「いつごろから」「どのくらいの規模」「どんな頻度」などが伺えればよいのではないか。課題調査部会の宿題で調査票のたたき台を提出させていただいた。もちろん返事をくれないところもたくさんあると思うし、公表されても困るところもあるだろうがやってみよう。

中森委員 インターネットを通じて、メール等で調査する方法もあるのではないか。区のメールマガジンに登録している人にアンケートする方法もありそうだ。『まちをきれいに』って皆さんにとってなんですか」とみなさんがどのように考えているのか募集してみても面白いかもしれない。私たちと違うかもしれない。子どもをターゲットにすることであれば、子どもたちにとってきれいなところの絵を描いてもらって募集してはどうか。

萩原委員 子どもの作品はイベントの時に貼り出せるかもしれない。幼稚園や保育園なども調査対象にしても良いのかもしれません。声をかけるだけでも、区民会議で取り組んでいることが広がることにもなると思う。

中森委員 先日川崎信用金庫を訪ねた時子どもたちの絵が掲示されていて非常に良かった。

成田委員 毎年コンクールが開かれ、入選作品などが展示されている。

萩原委員 武蔵中原にある(株)富士通でも、クリスマスの時に子どもたちの絵が巨大なスケールで映し出される。川崎信用金庫の展示は川崎市内の場所の絵がテーマとなっており、非常に良いと思う。

板倉部会長 図工の時間にやれるのであれば良いと思う。絵ではなく、写真で撮って集める方法もあると思う。マナーアップのポスター募集をしているが、夏休みを挟んで募集しても子どもたちが忙しいということで、年々応募数が減っている現状がある。

成田委員 夏休みの宿題としてしまうとなかなか集まらない。よい題材はたくさんあると思うのだが…。

板倉部会長 新たな作品募集をしても、校長会で了承を得られるか分からない。写真募集については、中原の魅力をテーマにフォトコンテストも開かれている。

事務局 区の木イラストを募集した際に区内の保育園やこども文化センターを通じて作品募集をお願いしたが、その際100点ほどの作品が集まった。ただ低学年の作品は、絵の内容がおとなではわかりにくいといった課題もある。

萩原委員 きれいなまちの絵を描こうという呼びかけでも意味があると思う。高校生くら

いまで巻き込まれれば理想だ。各学校の先生の判断にもよると思うが。

板倉部会長 中学校であれば美術部等もあるはずだ。

萩原委員 区民会議は会議の回数が少ないので、具体的にしないとどんどん時間が経過してしまう。アンケートはできるだけ早く始めたい。

板倉部会長 まとめる提案の件数はある程度絞り込むことが必要であり、3・4件くらいになるのではないか。アンケートは対象の方や団体が集まっているところに投入できれば、早く実行できそうだ。

萩原委員 あまり回答までの間隔をあけても、忘れられてしまいそうだ。全体会議での承認を得てからでなければならないのか。

事務局 アンケートは目的や最終的な提案ではなく、課題を引き出すための過程という位置づけになるかと思う。その位置づけであるならば全体会議に諮らなくても、課題調査部会で進めても良いと考えられる。

事務局(コンサルタント) 市役所からの無作為抽出によるアンケート調査を実施すると概ね回答率50%前後となることが多いが、今回のような既存の活動団体や区民会議委員の皆様の出身団体やネットワークを対象とした調査であれば、直接調査票を届ける形で短期間で行うことは可能かと思う。各委員の方々に足で稼いでいただくなど頑張っていた必要があるが、そういったやり方が良いのではないか。実施するとこのアンケート調査は最終的な目的ではないだろうし。どんな情報が集まるかも未知のところである。

萩原委員 アンケートの調査結果によって、取組を具体的に考える面もあるかと思う。回答を面倒くさがられないような工夫も必要だし、表彰をにおわせるような記述も必要かもしれない。

板倉部会長 第3回の課題調査部会でアンケートを開始できる状態にしていければと思う。

事務局(コンサルタント) アンケートの結果を待って、今回の提案をまとめるということだと、まとめがさらに先延ばしになり、大変になってしまう。またアンケートで本当に新たな情報や画期的な情報が出てくるかという点、期待外れに終わるかもしれない。アンケート結果に左右されない提案もまとめておく必要がある。

板倉部会長 今出ている御意見などの中から提案は一部まとめておく。アンケート調査結果による新たな検討課題が出てきたら、場合によっては、次の検討課題に回してもよいかと思う。

事務局(コンサルタント) 既存の活動団体を通じての調査では、既に把握されている団体が中心になるので、新しい視点や情報が出てきにくい可能性もある。何か新しい調査対象が見い出せればと思う。例えば企業などが挙げられる。

板倉部会長 皆さんの意見を踏まえて全体会議の資料をまとめていくにあたり、事務局と私に一任いただきたい。いかがか。

(一同承認)

・第3回中原区区民会議について

事務局から資料4「第3回中原区区民会議次第(案)」を説明、内容を確認。

参考資料「平成 26 年度第 1 回かわさき市民アンケート概要版」「平成 26 年度区民会議交流会の開催について」「なかはら区民会議だより第 23 号」について説明。

(質疑・意見等は無し)

7 その他

・ 第 3 回運営部会の日程調整

日程調整の結果第 3 回運営部会の日程を 2 月 19 日（木）の午前中と決定。

8 閉会

以上により、すべての議題等を終了

以上